

に、次のような Global な環境問題についてのシンポジウムを行った。

成層圏・中間圏光化学とエコロジー

(東京大学理学部 等松隆夫)

大気熱収支に及ぼす大気汚染の影響

(東北大学名誉教授 山本義一)

文化の発達と両極地方雪氷の汚染

(室蘭大学理学部 室住正世)

マルチスペクトル写真による環境汚染調査

(国土地理院 佐々波清夫)

火山の噴出物の環境に及ぼす影響

(東邦大学理学部 岩崎岩次)

自然と人間との均衡

(名古屋大学理学部 島津康男)

また、環境問題について多数の科学者が問題を持ち、取り組んでいる日本において、日本学術会議が中心になって、国際環境保全科学会議を世界に呼びかけて開くことは時宜にかなったことであるとし、会長提案がなされ、昭和50年、あるいは51年を目指して、それを開催すべく準備に入った。

6つのテーマ、およびサブテーマは一応下記のようにきめられた。

I. Environmental Problems of Global Scale

1. Man's impact on climate
2. Man's impact on ocean
3. Man's impact on terrestrial ecosystems

II. Development and Environment

1. Population problems
2. Environmental pollution and food production
3. "North-South" problems (Problems on developed—and developing country relation)

4. Land utilization versus nature conservation

III. Materials and Energy Balances in Production and Consumption Processes

1. Input-output relations in a particular process
2. Input-output relations with respect to a region
3. International implications

IV. Legal and Socio-Economic Frameworks

1. Socio-economic systems and environment
2. The problem of social cost
3. The role of natural science in the process of legislative innovations

V. The Role of Citizens

1. Citizen participation in environmental problems
2. The role of local autonomous bodies
3. The role of litigation

VI. Toward a Healthy Human Environment

1. What is a healthy human environment?
2. Methodology of environmental monitoring
3. Priorities in the agenda for scientific research
4. Organizational questions on systematic, interdisciplinary cooperation among scientists

小選挙区制をめぐって全国的な反対運動が行われた頃、日本学術会議有志による反対声明がだされ、これを受けて、日本気象学会理事会有志による、小選挙区制反対の声明が出された。気象学会総会会場で支持の署名が多くの会員によって行われた。

北海道支部研究発表会開催のお知らせ

下記のとおり研究発表会を気象台と共催で行いますので、発表希望者は申込んで下さい。

1. 日時：昭和48年11月29日(木) 9時30分～17時
2. 会場：札幌管区気象台大会議室
3. 研究発表募集
 - 1) 申込締切：10月20日(土) 必着
 - 2) 申込先：札幌市中央区北2条西18丁目

札幌管区気象台調査課内気象学会支部事務局

- 3) 講演時間：15分以内
- 4) 予稿の提出：講演申込者には所定の用紙を送付するので、予稿を11月8日(木)までに2)の申込先へ必ず提出すること。